

竹の内小学校 令和7年度 学校教育目標・重点取り組み

《学校教育目標》

「一人ひとりが 自信をもって 社会を生き抜ける 子どもの育成」

めざす学校像

- 「できる力」を身につける学校
- 「自信」と「喜び」が体感できる学校
- 「安心感」「心の安定」が保障できる学校

学校教育目標を実現する教職員の姿

- ◎ 目の前の子どもを「しっかり見る」「正しく理解する」「粘り強く成長を促す」
- ◎ 「わかった」「できた」「もっとやりたい」授業の実現を目指す
- ◎ 今だけでなく、近い将来（数年後・中学校）の姿をイメージした責任ある指導を実践する

第十中学校校区のめざす子ども像

- 自分も人も大切にできる子
- ゆめに向かって行動できる子
- うけとめつながる子

重点取り組み

- 自己有用感の育成 ⇒ 「役に立った、喜んでもらった、認められた」を、子どもたちが実感できる取組を増やします。
- 共生力を高める ⇒ 「挨拶・感謝・反省」の心をしっかりと伝えることを指導します。
- 学力の向上 ⇒ 「読む・書く・計算」の基礎的学力の定着を充実し、わかった・できた・もっとやってみたい」を実感できる授業に取り組みます。
- 生徒指導の充実 ⇒ どの子どもが安心して学べる 学級、学校づくりを実現します。課題に対しては、組織で動いて、迅速かつ確実な解決をめざします。
- 家庭(保護者)との連携 ⇒ 課題の共有や解決のためだけでなく、子どもたちの成長や頑張りや喜びを共有、喜び合える連携を行います。
- 地域との連携 ⇒ 「地域を誇れる子、地域が誇れる子」の育成に向け、地域と協働関係の強化をめざします。